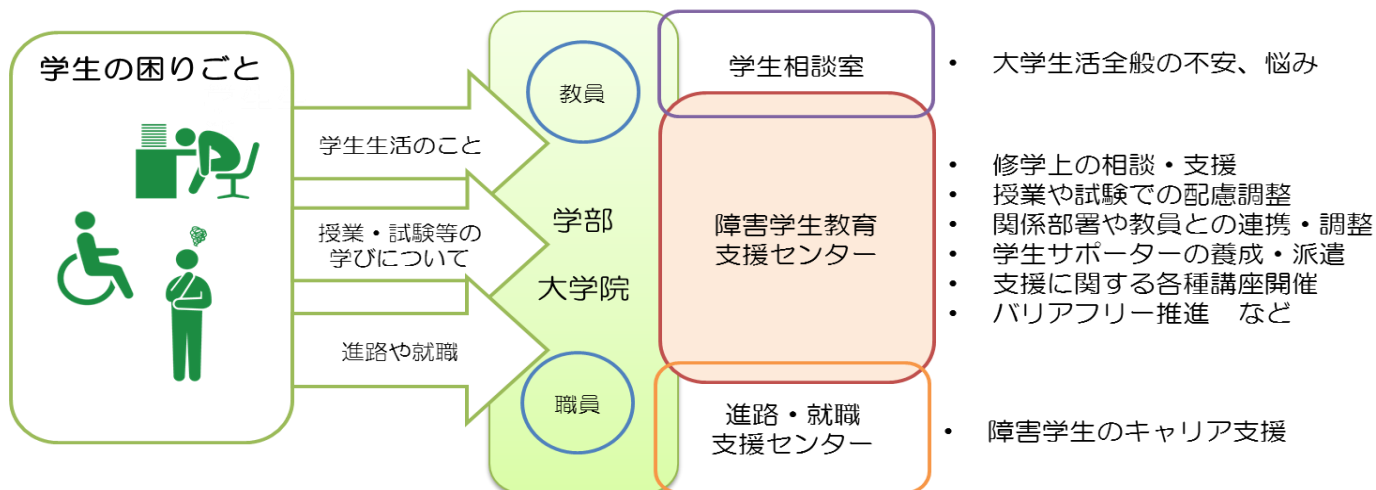


# 京都産業大学の障害学生支援について

障害学生教育支援センター

## ● 障害学生教育支援センターとは

京都産業大学 障害学生教育支援センターでは、障害があるなどの理由により、修学上の困りごとや悩みを抱える学生の相談に応じています。本学で学ぶ上で、必要に応じた配慮・調整（合理的配慮の提供）を行っています。



## ● 支援の対象と範囲

対象：障害・疾患などにより修学上の配慮・調整を必要とする者

範囲：講義・実験・フィールドワークなど、本学が提供する修学プログラム

## ■ 支援の流れ

支援を受けるための手順（概要）

入学が決まったら

- 本学への入学が決まり、障害などによる困りごとや不安がある、または想定される場合、障害学生教育支援センター（以下、センター）までご連絡ください。
- 入学までに、本学の支援体制やセンターの機能について情報提供をします。お電話・メールでご連絡の上、本学にお越しください。

入学・ガイダンス  
授業開始

- 授業や試験での配慮・調整の必要性について、面談を通じて確認、明確にしていきます。
- 授業や試験での配慮・調整が必要な場合、センターに配慮の申し込みをしてください。
- センターは、「配慮依頼文書」を作成し、履修している科目すべての担当教員にお知らせします。
- 大学では、授業の到達目標・評価方法が科目によって異なります。具体的な配慮内容は、授業ごとに担当教員と話し合い、確認をします。

授業を受けてみて  
その他

- 修学面での相談は、センターでいつでも受け付けています。
- 大学生活やメンタル面、進路・就職についての相談は、必要に応じて学内の関係部署（学生相談室、進路・就職支援センターなど）につなぎます。



■ おもな配慮・調整について 大学での配慮・支援は障害による困りごとによって様々です。その都度相談していきましょう。

聴覚障害

- ・ パソコンテイクサポート : 学生サポーターが授業中の音声情報をパソコンで伝える。
- ・ 映像資料の文字起こし : 映像で流れる音声情報を字幕にする。

視覚障害

- ・ 点訳・テキストデータ化 : 資料等を点字やテキストデータ化する。
- ・ 授業補助・対面朗読 : 実験・実習の補助や、レジユメの読み上げを行う。
- ・ 支援ツールの検討 : 学んでいくための支援機器についての検討。

肢体不自由

- ・ ポイントテイクサポート : 筆記が困難な場合、学生サポーターが板書を書き写す。
- ・ 支援ツールの検討 : 学んでいくための支援機器(パソコン等)についての相談。
- ・ 授業・試験時の配慮相談

発達障害

- ・ ポイントテイクサポート : ノートをまとめるのが困難な場合、学生サポーターが補助的に授業の要点をノートにまとめる。
- ・ 授業・試験時の配慮相談

◎ 注意

適切な配慮・調整には、準備が必要です。

障害による困りごと・不安がある場合は、なるべく早くご相談下さい。

また、学生本人との話し合い、意思表示が大切になりますので、ご相談の際には、保証人だけでなく、必ず学生ご本人もお越しください。



障害学生支援サポーター大募集！！

障害学生教育支援センターでは、障害のある学生への修学支援の一端をを担う「障害学生支援サポーター」（学生サポーター）を養成・派遣しています。学生サポーターは、自分の空き時間を利用して、おもに情報保障に関するサポートを担当しています。2016年度は約70名のサポーターが活躍しています。

授業中の音声情報をパソコンで伝えるパソコンテイクサポート、授業の内容を補助的にまとめるポイントテイクサポート、映像資料の文字起こしをするサポートなど、サポート内容は様々です。

それぞれ責任のある業務として、給与をお支払しています。

春学期、秋学期はじめに募集しますので、興味のある方は、学内ポータルサイト「POST」で確認してください。あなたの参加お待ちしております。

■ お問い合わせ先

京都産業大学 障害学生教育支援センター

・ 開室時間

平日 8:45 - 16:30 (昼休み 13:00 - 14:00) / 土曜日 8:45 - 12:00

TEL : 075-705-1981 / FAX : 075-705-2946

Mail : shogai-support@star.kyoto-su.ac.jp

HP : [http://www.kyoto-su.ac.jp/campuslife/os\\_support/index.html](http://www.kyoto-su.ac.jp/campuslife/os_support/index.html)

